

ハンドブック
ワンポイント
レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

競技規則第15条（プレーヤーの心得）に関する以下のことについてご指導ください。

- (1) 「連続的にプレー」で、サービス前のボールをコートに数回バウンドさせてから、サービスを毎回行う行為は、どの辺が許容範囲か？ イエローカードはあり得るか？
- (2) 「連続的にプレー」で、常態的な遅延行為に対して、アンパイヤーが対処できるのは「レッツプレー」しかない。何度もコールするのは、見ている側からすると、見苦しいのではないか。この遅延行為で「レッドカード」というわけにもいかない。
- (3) 結局、解説5にあるように現場の「アンパイヤーの判断」に委ねられている。15条の本文にある「マナーを尊重し」の、「マナー」についての説明が一切ない。「マナー」や「フェアプレー」、「スポーツマンシップ」等の語句を丁寧に説明するページを入れたらどうか。

Answer

プレーヤーはマナーを尊重し、

- ① 過度のかけ声、又は相手を不快にする発声をしない。
 - ② マッチの開始から終了まで連続的にプレーする。
 - ③ アンパイヤーの指示に従う。
- その判定はアンパイヤーの判断とする。

(1) この度は、「プレーヤーの心得」についてのご質問です。プレーヤーの皆さんが一番気を付けなければならない事です。多くの方は守られているようですが、中にはマナー違反をしている人がいて、その人たちに対し競技規則第15条が定められています。そこで守られない人には、当然罰則が科せられる事になります。それが警告(イエローカード)です。ご質問の内容から、サービス時に毎回数回ボールを付いてからサービスを行う行為に対して、どう取り扱うかを聞かれていると受け止めます。1マッチの時間は30分~40分と計算します。実際にボールを打ち合っている時間は5分あるでしょうか。残りは移動であったり、ボールを拾いに行ったり、心構えを作っている時間等と考えていいでしょうか。それに、サービス時に構えて毎回ボールを数回バウンドしている時間はどうでしょう。連続的にプレーする大前提からすると大変な時間を費やしている事になります。相手方もイライラして来ると思いますが、見る者にとっても同様です。競技を直接担当するのはアンパイヤーです。アンパイヤーは資格を持たれ競技規則を十分理解している有資格者だと思えます。連続的プレーを謳っているソフトテニスで、サービス時に毎回毎回ボールをつくことで流れが途切れている

事に対し、どのような罰則を適用するかはご存知でしょう。タイミングを失する事無く、「レッツプレー」のコールを発するべきです。そして、次にはイエローカードを提示し、再度サービス時にボールをつくことをしないようにカードにより指示すべきです。ご質問に“どの辺が許容範囲か”決めかねておられるようですが、最初レッツプレーのコールをした以降は当然プレーヤーもボールをつくことはいけないことを理解しており、次のレッツプレーのコールはイエローカードが提示される事は心得ているはず。習慣は恐ろしいもので、つい普段の何気ない行動が身に付き現れるものです。平素からその気になればボールを付かないでサービスが出来るようになります。貴方が有資格者であるなら初心に返りハンドブックを解読されることを願っています。正しい大会運営の進行にご協力頂くと共に仲間のご指導を宜しく願います。

- (2) 遅延行為に対しては、「レッツプレー」とコールをし、進行を促します。その指示に従わなければ、競技規則第15条第3号（アンパイヤーの指示に従いプレーすること。）を適用して警告（イエローカード）を与えます。1マッチ中に警告が3回におよんだ場合は、レフェリー

および競技責任者と協議の上、プレーヤー（団体戦においては当該プレーヤーの所属するチーム）を失格（レッドカード）とし、相手方の勝ちを宣告（レフェリーストップゲームセット・ディスクオリフィケーション）します。

- (3) ソフトテニスハンドブックにおいては、競技規則、審判規則、大会運営規則という観点から、マナーやフェアプレー、スポーツマンシップについては、常識の範囲内で理解して頂き、定義や説明をするのは割愛しています。これらについては、日本ソフトテニス連盟において、「フェアプレーで日本を元気に」フェアプレー宣言キャンペーン活動を継続して推進しています。また、自己責任およびフェアプレー精神を身につけ、マナーを重んじる教育を推進し、青少年の健全育成も図っています。具体的には「環境宣言『来たときよりも美しく』フェアプレー宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』」の横断幕の設置を行い環境とマナーの向上にも努めています。現在、日本ソフトテニス連盟の環境・教育プロジェクト委員会において、マナー倫理教本（仮称）を作製しPRしていくことも計画中です。

【関連規則】

競技規則

第15条 プレーヤーの心得

第41条 警告

第42条第2項第3号 失格

【解説18】3.

審判規則

判定及びカウントのコール 31 レフェリーストップゲームセット
34 ディスクオリフィケーション

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

4. プレーヤーがよく分かっていなければならないこと（心得）

17. 警告

18. 失格になるのはどんなときか？

判定及びカウントのコール 31 レフェリーストップゲームセット
34 ディスクオリフィケーション

